

児童相談所関連研修「児童心理司（1～2年目）」（第2回）

【日時】	令和3年11月2日（火）、4日（木）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	50名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育研究所 客員研究員 山本 恒雄 氏 ・社会福祉法人旭児童ホーム 心理療法担当職員 内海 新祐 氏 ・東京都江東児童相談所 職員 ・上智大学 総合人間科学部 心理学科 教授 横山 恭子 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>児童心理司（1～2年目職員）として求められる役割を理解すると共に、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。</p> <p><内容></p> <p>①性加害、性被害児童への対応【総論】（講義）</p> <p>②性加害、性被害児童への対応【児童養護施設】（講義）</p> <p>③カンファレンス、コンサルティングに求められる技能（講義、演習）</p> <p>④子どものアセスメント【描画】（講義、演習）</p> <p style="text-align: right;"><講義の様子></p> 
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・性被害の実態について様々な話を聞くことができとても勉強になりました。福祉だけでなく司法や警察など幅広い領域での変革が求められていることがわかりました。 ・児童養護施設内でどのように性の問題が起きるのかを知ることができたので、今後の業務に活かしていきます。 ・保護者に伝わるように、ニーズに合うように、ということを忘れかけていたことに気づくことができました。受講することができて本当に良かったです。 ・描画によるアセスメントでは、ディスカッションを通して多角的に見ることができることを実感できました。